SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK
セタガヤ ボランティア ネットワーク
世田谷発！ボランティア生活発見マガジン
https://www.otagaisama.or.jp/
2021.7 No.207
Setagaya Volunteer Association
世田谷ボランティア協会 40 周年

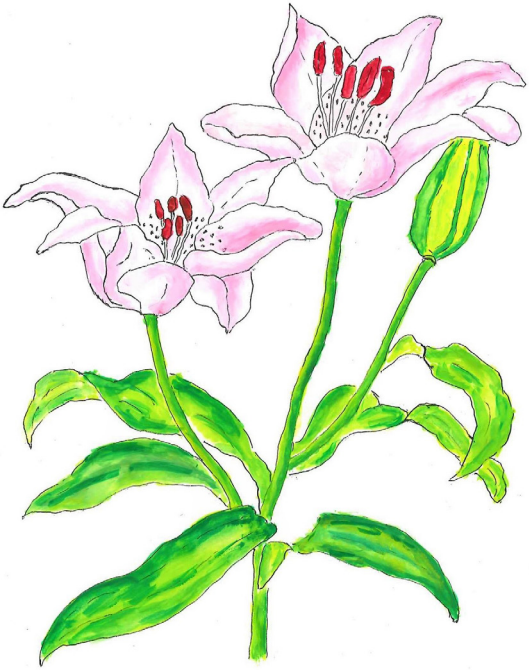
今月のトピック

特 集●

「みどり」の季節に、「世田谷みどり３３」を考える

キラリ世田谷人！● 森 優子さん

NPO・市民活動セミナー実施報告 前編



イラストレーション● 山田　秀夫
街を散歩していて、きれいな花を見て、花の絵に興味を持ち書き始めました。五十の手習いどころか八十の暇つぶしかも。

●わたしの世田谷
私は 60 数年を世田谷で生活して参りました。思い出をたくさん作ってくれた街です。楽しいこと、嬉しかったこと、そしてすごく悲しい出来事も全部知っていて全てを飲み込んでくれている街です。そして私の周りには優しい人たちもいっぱいおられます。人も世田谷も大好きです。

●特集

「みどり」の季節に、「世田谷みどり３３」を考える

世田谷区が区制100周年を迎える2032年までに区の面積の三分の一をみどりにしよう、という目標が「世田谷みどり33」。５年前の測定値“25.18％”を“33％”に引き上げるのはなかなか難しいことです。世田谷区のみどり政策課と、みどりを愛する仲間たちによる「世田谷みどり33協働会議」が、みどりの保全・創出にかかわる活動で協働しています。みどり33を達成するために、私たちがやるべきこと、やれることは何でしょう。そのヒントを探りたく、協働会議の事務局長である大坪義明（おおつぼよしあき）さんにお話を伺いました。

下馬一丁目のボランタリーファーム＆ガーデン

「落ち葉ひろいリレー」で みどりの恵みに感謝する

世田谷区のみどりの60％は、私有地のもの。良好な環境を守るためには、区民にみどりの大切さをもっと身近に感じてほしい。そんな行政の切実な思いに応えるため、協働会議は、２０１５年から世田谷区みどり政策課とともにさまざまな協働事業に取り組んできました。

そのひとつ、「世田谷のグリーンインフラを考えるシンポジウム」では、コンクリート・アスファルトの人工物に代表されるグレーインフラに対して、自然の持つちからを活用するグリーンインフラの重要性を訴えてきました。２０１８年には、区の「みどりの基本計画」や「豪雨対策行動計画」に「グリーンインフラ」が盛り込まれ、区民にも徐々にその存在が知られてきています。

もうひとつ、「世田谷落ち葉ひろいリレー」では、長く成城で行われていた落ち葉清掃の市民活動を区内各地で展開し、今では毎年11月、12月の一か月半の間に区内20の会場で延べ40回以上実施し、１０００人以上が参加する全区的なイベントになりました。特に昨年、コロナ禍のさなかにもかかわらず、熱心に参加する人びとの姿に接して、大坪さんは「今まで以上にこの活動の大切さを身にしみて感じた」と言います。

「落ち葉ひろいリレー」は、３年目から代表的な民有地のみどりである寺社の樹林に注目し、会場に加えていく一方、リーフレットの内容を見直すなどの工夫を重ねたことで、参加者が増えました。活動内容も、落ち葉焚きや焼き芋を取り入れるなど、会場や参加者の特性に合わせて、次第に多様化してきています。

「この取り組みはこれからますます広がるでしょう。世田谷の動きは、東京都からも注目されてお

り、都と区市町村が合同で策定している『緑確保の総合的な方針』の中でも、落ち葉ひろいリレーが取り上げられています。2年前には、成城で7市区の行政担当者の合同見学会が実施され、参加した練馬区では、今年、試行することになりました」と大坪さん。

いずれは、「ささんか、ささんか咲いた道、焚火だ、焚火だ、落ち葉焚き♪」と、東京の各地で落ち葉掃きが復活する日が来るかもしれませんね。

世田谷みどり３３協働会議事務局長 大坪義明さん

世田谷ひとつぼみどりのススメのリーフレット

「コモン」の可能性

もっとも、みどりの恵みに感謝しているだけでは、みどりは増えません。道路は代表的なグレーインフラで、世田谷区の道路率は17％に達します。その半分が土にかえれば、みどり33は達成できますが、それはたやすいことではありません。とはいえ、「気候危機の現実を前にして、何もできませんでしたでは済まされない」と語る大坪さんは、「コモン」という考え方に可能性を見出しています。

「コモン」が知られるようになるのに大いに貢献したのは、若き哲学者の斎藤幸平さんの著書「人新世の『資本論』」でしょう。マルクスの資本論の考え方にこそ、行き詰った時代の解決策がある、と内容は易しくないのに30万部を突破している大ベストセラーです。斎藤さんがここで展開している重要な考え方の一つが「コモン」であり、社会的に人々に共有され、管理されるべき「富」のことです。伝統的なコモンには、農漁村の「入会（いりあい）地」がありますが、現代社会で、また特に都市部で、その復権を図ろうという考え方には、多くの人が賛同し、実際、欧州の諸都市では、さまざまな形で実現もしています。

いきなり大きなコモンを想像す

るのは夢物語になりますが、身近なところから「コモン」の領域を作り出し、広げていけばいい、と大坪さんは考えています。

「ひとつぼみどり」をコモン化する

大坪さんは、自宅近くにある「コーシャハイム千歳烏山」で、コミュニティ・ガーデン活動を近隣住民の人たちと続けています。活動の中には、通常、ツツジなどの植えつぶしになっている街路樹間の根じめ部分を、低木や草本類の混植に変えるという取り組みがあります。区のみどり政策課が奨励する「ひとつぼみどり」は、自分の家の一坪をみどりに変えるという「自助」活動ですが、6年前、試しにコーシャハイムの歩道の一角を花壇に変えさせてもらったのが、60㎝×三間の、まさに一坪のスペースだったのだそうです。

コーシャハイム千歳烏山の
歩道のひとつぼみどり

「オーナーの東京都住宅供給公社と管理会社の担当の方々のご好意で、コミュニティ・ガーデン活動の舞台が広がりました」。今では総延長が優に100メートルを超え、さまざまな表情を見せる魅力的な景色が歩道沿いに続いています。

道路は100%パブリックなオープンスペースです。歩道を歩くことが自由なら、歩道の植栽も、責任ある「管理」をすることを条件に、みんなの庭として「利活用」する、つまりコモン化してもいいはずだ、というのが大坪さんの考えです。また集合住宅に住んでいる人でも土に親しむことができます。

「マイクロ水力発電から、『マイクロ・コモンズ』という言葉を思いつきました。地球環境を『グローバル・コモンズ』とみなすのと対局のコンセプトですが、どちらも肝心なのは『スチュワードシップ(責任ある管理)』です。これを公共空間における市民参加・官民協働による管理・利活用の、新たなモデルにしたい」。

峰松緑地とボランタリーファーム&ガーデン

大坪さんが「マイクロ・コモンズ」の可能性を見る例としては、東急世田谷線の若林駅近くに位置する峰松緑地があります。電車からもうっそうとした濃い緑の

林が目に留まります。２０１３年に元の土地所有者から地域の防災用地として世田谷区に寄付された１３００平米ほどの樹林地の半分は竹林で、タヌキも生息しているそうです。隣のマンションへの配慮、防犯上の理由で、普段は施錠されていますが、地元住民を中心に50名弱が名を連ねる「峰松緑地が気になるグループ」が、時折竹の伐採など行っています。

　このような緑地、街区公園などは、コモン化することで、より魅力的な空間に生まれ変わる可能性を秘めています。「世田谷ボランティア協会をささえる会」のみどり企画が、下馬一丁目の「街づくり用地」を区から借用して、地域の人びとの目を楽しませる「ボランタリーファーム&ガーデン」を運営していますが、まさに「マイクロ・コモンズ」そのものです。

峰松緑地での市民による緑地管理の様子

　「『世田谷みどり33』は、みどりの量ばかりではなく、質の向上も目指す目標です。マイクロ・コモンズは、量的な拡大にはあまり寄与しないかもしれませんが、質の面と、なにより市民の参加意識を高め、そこでの協働の体験は、貴重な宝になるでしょう。道路の片側を人と自転車の専用道路にして植物を植えたり、大きな建物を解体して公園にしたり、という本格的な緑化は、こうした宝ものが支えになって、初めて実現できるのだと思います。」

　「コーシャハイム千歳烏山での活動には、若者もボランティアに訪れます。近所の高校では、ボランティア活動が単位として認められています。単位目当ての高校生が、通りがかりの人たちから何度も『ありがとう』と言われうちに、彼らの中で何かが変わるのがわかります。イギリスのウィリアム・モリスは『幸せな労働は変化に富み、創造の喜びがあり、人に役立つ実感がある』と述べていますが、まさに『人の役に立っている』ということを実感するのでしょう。１単位分＝60時間のボランティアを完遂した後の晴々とした彼らの顔を見ると、こちらも嬉しくなります」。

　土やみどりは、人と人を自然につなげる力があります。世田谷のあちこちに、地域の小さな「コモン」が見られるようになった先に「みどり３３」が現実となることを「イマジン」しながらのボランティア活動は、いますぐにでも始められそうです。

（取材／編集委員　星野　弥生）

■「世田谷みどり３３」についてもっと知りたい方は、「世田谷みどり３３」とウェブで検索してください。

わらべうたを伝えるピアノの先生

森　優子さん

もり　ゆうこ

せたがや キラリ人

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します

取材●星野　弥生

セボネ5月号で、「キラリ」してくださった森郁子さん、小さい時から今にいたるまでの「育ち」の歴史を聞きながら、どうしても「お母様」に登場してもらいたくなったので、今回は優子さんの出番です。

優子さんは音大でピアノを専攻し、ハンガリーのコダーイ・システムに関心をもち、桐朋学園の大島久子先生がノウハウを伝えるゼミに何年か通いました。そして、郁子さんが3～4歳の時に、「わらべうた」を伝承していくことを思いつきます。「わらべうたのメロディは日本語の抑揚と同じ、DNAに刷り込まれた音階は赤ちゃんの魂にも響くんです」。児童館で若いママと赤ちゃんに伝える活動が始まり、どんどん広がりました。ピアノ教室である音楽ルームでは社会福祉協議会が後援する子育てサロン「空とぶバケツ」を主催しています。「子育て中のお母さん、遊びにきてね！」と月に二回、月曜日の午前中、親子に開放しています。ピアノを習っている子どもたちと親たちが作った「場」です。ユーゴスラビアの子どもたちの絵画展を開いたり、さまざまな国の子どもたちの様子を伝えたりと、その活動はとてもユニークです。国際NGOでの仕事をしてきた郁子さんとのコラボが活かされています。

40年以上続けているピアノの先生としてもしっかりとしたポリシーがあります。「ピアノは指がちゃんと形成される6歳になってから。その前にわらべうたあそびで音に親しむと、6歳までには楽譜が読めるようになります」そうやって優子さんに育てられてきた子どもたちとは、社会人になった今も深くかかわっています。

小さい時から「変わっている人たち」が好きだった娘の郁子さんは高校に入ったら「いい子になるのをやめた」と、ロスアンゼルスの大学に行ってしまいました。4年後に帰国し、仕事で自ら稼いだお金でイギリスの大学院へ。「娘のおかげでいろんなことを経験させてもらいました」と卒論の手伝いもしたとか。「郁子は友だちを作るのが特技で、いい友だちがたくさんいるの」とおっしゃる優子さんこそ、友だちつくりの元祖ですね！「自分が好きなことをやってきて今に至っています。母も子も好きなことをやっていますね」うーん、確かに！

セミナー実施報告 前編

2021年3月に、世田谷ボランティア協会主催「コロナ禍での市民活動～それぞれの奮闘と創意工夫」を開催しました。今回は前編として「居場所づくり編～これならできるを探す日々」についてご報告します。

【NPO & 市民活動団体対象 / セミナー＆個別相談会】

【午後の部 / 対面開催（定員 10 名）】14:00～16:00
▽居場所づくり編：「これならできる」を探す日々
・小池 良実さん / 岡さんのいえ TOMO

【夜の部 / ZOOM 開催（定員 16 名）】19:00～21:00
▽コミュニケーション編：団体内のコミュニケーション不和を乗り越える
・西川 正さん / ハンズオン埼玉

小池良実（こいけかずみ）さんが大叔母様から建物を譲り受け、まちのお茶の間として「岡さんのいえTOMO」は、誕生しました。活動13年目です。毎週水曜日は「開いているデー」、他にも中高生の居場所・食事会・まちの保健室カフェ・レンタルスペース等、様々な活動が展開中です。

●立ち止まって見えてきたこと

自粛期間、「閉じた」ことで、改めて岡さんのいえを必要としている人を再確認できる時間になった、とのこと。セミナー参加者からも「自分も活動を見直す貴重な時間となった。方向転換することを決意した」という声も聞かれました。

●新しい「はじめの一歩」の為に

コミュニケーションの取り方は、対面からICTを活用する形へ変わり、刻々と変わる状況を岡さんのいえTOMOの運営メンバーと共有し、活動の意志決定することに。また、HPを活用し、自宅でできる遊び・料理などを積極的に紹介し、利用者との繋がりを保つ情報発信を心掛けていました。とにかく「できないこと」よりも「できること」を見つけ出すことを心掛けていたそうです。

●共感の輪とエール

小池さんのご報告は、現場で葛藤しながら歩む実感のこもる言葉が溢れていました。だからこそ、同様に地域活動で四苦八苦している参加者にとって、深い共感と励ましの言葉になっていたようです。小池さんの「何度も辞めようと思ったことはある」その言葉に勇気づけられたとアンケートに寄せてくださった方もいました。悩みをわかちあいながら、あたたかなエールを送りあえる、そんな時間を過ごすことができたように感じています。

（NPO・市民活動 担当　大垣内）

■ NPO ＆市民活動セミナー 2021 は今年の秋冬に実施予定です。
詳細はホームページに掲載予定です！お楽しみに。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL　5712-5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアをお探しして紹介しています。

現在は、新型コロナウィルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　高居・青木
TEL　5712-5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

京 ライブラリー管理ボランティア募集

コミュニティカフェななつのこには全て、地域皆様方などからの寄贈本で、小説、ムック本、絵本等々蔵書が千冊以上のライブラリーがあり、その整理や本の紹介に興味のある方を募集しております。司書の資格を活かしてボランティアしてみたい、図書館で勤めていたけれど、今は子どもが小さいので、子どもと一緒に本に関わりたい等々、本が大好きな方をお待ちしております詳細はお問い合わせください。

●日時／営業日時内でご都合に合わせて要相談
●場所／コミュニティカフェななつのこ（世田谷区南烏山6-12-12コーシャハイム千歳烏山12号棟1階）
●交通／千歳烏山駅徒歩5分
●条件／交通費支給（上限千円）
●問合せ／コミュニティカフェななつのこ　担当　鎌田
TEL　5969-8457
info@nanatsunoko.com
https://nanatsunoko.com/

京 懐かしの名画会運営ボランティア募集

コミュニティカフェななつのこでは、毎月1回第4月曜日の午後に懐かしの名画会を開催しています。1970年以前に作られた名作を上映して64回を迎えました。当日の設営（暗幕を貼る作業）や上映作品の選択などにお手伝いをいただける方を募集いたします。

●日時／毎月第4月曜日12時半～16時半
●場所／コミュニティカフェななつのこ（世田谷区南烏山6-12-12コーシャハイム千歳烏山12号棟1階）
●交通／千歳烏山駅徒歩5分
●条件／交通費支給（上限千円まで）
●問合せ／コミュニティカフェななつのこ　担当　鎌田
TEL　5969-8457
info@nanatsunoko.com
https://nanatsunoko.com/

上記掲載記事は6月16日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

運転ボランティアを募集します

NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会では、より多くの利用者（障がい者や高齢者）のお出かけニーズにお応えするために、運転ボランティアの仲間に加わっていただける方を募集しています。

運転免許証をお持ちの75歳以下の方、男女不問、経験不問です。運転ボランティアをするにあたって、必要な知識と技術を学べる国交省認定講習プログラムを必ず修了していただきますので、安心して活動が始められます。

お仕事の休みの時や余暇時間に活動していただければ良いので、無理なくボランティア活動に参加いただけます。関心を持っていただいた方、まずはお電話下さい。

※2種免許をお持ちの方は、免除規定があります。

●問合せ／NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会　担当　浅岡
TEL　3329-0855
http://setagayamc.main.jp/index.html

有償スタッフ募集

東 知的障害のある方のランチに同行してくださる方募集

私たちが日ごろ支援している下馬にお住いの軽い知的障害のある50代のご婦人のランチ支援を行ってくださる方を募集しています。土曜、日曜の昼間2時間ほどです。買い物同行をお願いすることもあります。いつも徒歩で行動され、ランチは三軒茶屋限定です。身辺自立は全く問題なく意思表示もしっかりして、楽しい方です。お話し相手になっていただき、会計代行などをお願いします。

資格有無は問いません。昼食代など経費、往復交通費は当方で負担します。資格のない方には謝礼を、ヘルパー資格をお持ちの方には賃金をお支払いします。

●日時／土曜、日曜の昼間2時間ほど
●場所／三軒茶屋あたり限定
●交通／田園都市線三軒茶屋駅
●問合せ／特定非営利活動法人ガチャバンともに生きる会
担当　酒井
070-5563-1475
sazaeyoda0193@y2.dion.ne.jp

小 京 東 赤ちゃんのいるご家庭を訪問し、育児・家事支援をしてくださる方募集

世田谷区内において、赤ちゃんのいるご家庭（出産後1年未満）を訪問し、お母さんと一緒に赤ちゃんのお世話や家事のお手伝い、外出の付き添いなどを行ってくださる方を探しています。

体調不良や育児への不安など、産後の大変な時期に力を貸してくださる方がいることは、大きな支えになります。日時や内容はご家庭によって異なるため、詳しくはお気軽にお問い合わせください。

●日時／月～土曜日、9時～17時（2時間程度。ご家庭ごとで異なります。）
●場所／世田谷区内のご家庭
●交通／小田急線・京王線・田園都市線など
●条件／子育て経験や保育士・看護師等の資格をお持ちの方。有償、交通費支給、研修あり
●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 水野
TEL　5727-2133
http://www.jcsw.jp/

講座・その他・募集

小 もっと語ろう不登校 Part 258

これまで28年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／7月10日（土）14時～
●場所／NPOフリースクール僕んち（代田4-32-17）またはZOOM会議にて
●交通／梅ヶ丘駅徒歩10分
●条件／事前申し込み制
●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当　高橋
090-3905-8124
fsbttoru@yahoo.co.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

講座・その他・募集

2021 小学生夏休みボランティア体験 ナツボラ・ジュニア～ささえあいは生きるちから～

ナツボラジュニアでは、夏休み中に小学生とその家族にボランティアとの出会い・体験の場を提供しています。体験を通じて、地域内でのおたがいさまの心や生きる力が育まれることを目指しています。ぜひご参加ください。

●条件／世田谷区内に在住・在学の小学生
●日時／7月21日（水）～8月31日（火）
●参加費／1人500円と別途ボランティア保険料350円
●申込／7月10日（土）10時半～
参加費と保険料をご持参のうえ、お近くのボランティアビューローへ
●問合せ／お近くのボランティアビューローへお電話または直接窓口へ
※ビューロー連絡先は本誌セボネ裏表紙をご参照ください。

小 代田ビューローご近所カフェ『写真でおはなしの会』

コロナ禍ですが感染予防対策をしっかりしながら、みなさんでおしゃべりしませんか。趣味のこと、若い頃の思い出、代田周辺の昔の風景などの写真をご持参いただき、おはなしを聴きあうプログラムを開催いたします。傾聴ボランティアの参加も予定しています。

●日時／7月17日（土）13時～16時
●場所／代田ボランティアビューロー
●交通／世田谷代田駅徒歩すぐ
●参加費／100円（お茶代）
●条件／マスク着用、はなしたい内容に関連する写真1枚ご持参ください。
●申込み／お電話かメールで。メールの場合は件名に、「ご近所カフェ写真でおはなしの会参加希望」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。
●問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419-4545
daitabora@otagaisama.or.jp

小 梅丘失語症カフェ 失語症の方が話す「失語症」

今回は、「失語症のある方に聞く『失語症』」をテーマに開催します。失語症のある方で、ご自身の失語症について話したいという方、ぜひ梅丘ボランティアビューローへご連絡ください。職員がお話をうかがって、ミニ講座へ集まった方々へ伝えます。お気軽にご連絡ください。参加されたい方は、必ず事前のご予約をお願いします。
※新型コロナウイルス感染症予防のため、ミニ講座形式で行います。

●日時／7月17日（土）13時半～15時半
●参加費／300円
●場所／梅丘ボランティアビューロー
●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分
●募集人数／先着12名
●条件／必ず事前予約
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420-2520
umebora@otagaisama.or.jp

小 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待、不登校、いじめ、非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策を講じたうえで、開催させていただきます。

●日時／7月17日（土）13時半～16時半
●場所／喜多見地区会館（世田谷区喜多見8-23-23）
●交通／喜多見駅徒歩3分
●参加費／一般1000円
学生500円
●申込み／お電話かHPから
●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会
担当 水野
TEL 5727-2133
http://www.jcsw.jp/

上記掲載記事は6月16日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

東 バザー提供品 受け取り一時休止のご案内

いつもバザー品のご提供にご協力いただき、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バザーを休止しております。そのため、バザーの物品提供の受付（持ち込み及び宅急便などの郵送）を当面の間、休止とさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

※次回のバザーの開催は未定です。再開が決まり次第お知らせいたします。

●問合せ／世田谷ボランティア協会　TEL　5712-5101

世田谷ボランティア協会設立40周年

おかげさまで世田谷ボランティア協会は設立40周年を迎えました。1981年10月に設立し、1996年10月に社会福祉法人となり、25周年になります。世田谷ボランティア協会は、ボランタリーなコミュニティの実現につながる活動を見出し、創り上げて地域の人々とともに実践し続けることという使命を果たすべく日々活動を続けてきました。

皆様のご協力をいただきながら、ボランティアセンターやビューローの活動、ケアセンターふらっとやwith、ケアステーション連等の社会福祉事業、チャイルドラインや災害ボランティアセンター、パートナーセンター事業など様々な取り組みを行ってまいりました。

今後とも、「おたがいさま宣言」に描かれている「人それぞれに違いがあることを理解し、その違いを本質的で大切なものとして尊重し、自分にできて相手にできないことはしてあげて、その逆のことはしてもらう。おたがいがそれを自然なことだと受け止めれば、自分の喜びも相手の喜びも一つになり、信頼が生まれる。そういう繋がりに、安心と幸福を感じることができる地域社会」「ボランタリーなコミュニティ」の実現を目指し、活動を続けてまいります。

世田谷ボランティア協会活動への皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い 子どもをささえる活動をささえてください

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動をささえるために、寄付のご協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／00150-8-279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなります。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どものかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。お支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は、「お名前・送付先ご住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン　TEL　5712-5101　childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動●支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

■世田谷ボランティアセンター　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL（5712）5101　FAX（3410）3811
■梅丘ボランティアビューロー　〒154－0022 梅丘1－8－9　TEL（3420）2520　FAX（3706）2854
■代田ボランティアビューロー　〒155－0033 代田2－20－6　TEL（3419）4545　FAX（3412）3210
■玉川ボランティアビューロー　〒158－0094 玉川2－1－15　TEL（3707）3528　FAX（3708）3058
■砧ボランティアビューロー準備室　〒157－0066 成城6－3－10　TEL（6411）4007　FAX（6411）5888

●いのちを大切にするところ「ふらっと」＆「with」です●

■ケアセンター「ふらっと」　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL（5712）5105 FAX（3410）
■ケアセンター「ｗｉｔｈ」　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋 1F　TEL（6805）4715 FAX（6805）4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

■ケア相談センター結（ゆい）　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋 2F　TEL（5433）2830 FAX（6383）2156
■ケアステーション連（れん）　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋 2F　TEL（6805）4716 FAX（6805）4718

●障がいにともなう「困った！」を話せるところ●

■地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝ三軒茶屋 2F　TEL（6804）0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

■せたがやチャイルドライン　こどもせんようでんわ　TEL（3412）4747　0120-99-7777（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）
＊事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター＆ビューローより

砧ボランティアビューロー準備室は６月22日で開設１周年を迎えました。引き続き、砧地域のボランティア相談窓口として地域の活動が活発になるようコーディネートしていきますので、よろしくお願いいたします。

◆ふらっと＆ with より

出口の見えない毎日を、「もう年末まで６か月を切った」とメンバーは笑わせてくれます。ふらっとでは、新しい仲間も増え、時に就職したメンバーが顔をみせてくれ、マスク越しに笑顔のキャッチボール。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

世田谷区内の子どもたちに、夏休み前にチャイルドラインカードを届けられるように準備をしています。悲しいことも、うれしいことも、気になることも、どんなことでも、子どもたちからの電話をまっています。

編集後記

■６月６日から会議室利用を再開し、ボランティア団体や市民活動団体のご利用も徐々に再開されています。皆さんと、１カ月半ぶりにお会いすると、ホッとする気持ちになり、改めて新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりです。

■特集「世田谷みどり３３」で思い出すのは自分の幼少期の頃。近くに公園があり多摩川も近かったため、緑と水に囲まれて育ち、多様な生き物と触れ合い、命の勉強になりました。（こ）

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154－0002
世田谷区下馬2－20－14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811
●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
https://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山　康博